キャラクター名
プライム

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	多脚戦車
オプショナル		年齢	14	性別	男
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	38 %
出自	培養槽	経験	力の暴走	邂逅	支配

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	0	1		1
感覚	0	1	0			1
精神	2	0	0			2
社会	6	0	0			6

HP	4
行動値	0
(非装備時)	2
戦闘移動	7
全力移動	14

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	2	1	調達	4	
運転：運転：多脚戦車	9	3	芸術：			知識：			情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
最強の一撃だぁ！！	運転	6r+12		20		
最強の二撃だぁ！！	運転	18r+12		20		80%／C値6
最強！ 最強！ 最強！	運転	22r+12		20		100%／C値6
もはや、言葉は最強！	運転	22r+12		20		120%／C値6

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
オルトロス		15		-5	攻撃20／移動120m
精神手術				3	意思達成値-3

合計装甲：	15	合計回避：	0

所持品	
精神強化手術×3	
思い出の品	
コーリングシステム	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
装着者	P	N		
メティス	P 恩人	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 20	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
ﾀﾌﾞﾚｯﾄ	5	2	ｵｰﾄ					
効果： 対象：視界／ｼｰﾝLv回								
多重生成	1	3	ｵｰﾄ					
効果： 対象Lv+1体【2】								
女王の降臨	1	5	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ					
効果： ｿﾗﾘｽｴﾌｪｸﾄ使用								
狂戦士	5	5	ﾒｼﾞｬｰ				80	
効果： C値-1、判定D+Lv×2【10】								
ｱﾄﾞﾚﾅﾘﾝ	4	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果： 肉体判定D、Lv+1【5】								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ：ｿﾗﾘｽ	3	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果： C値【7】								
ﾘﾌﾚｯｸｽ:ｿﾗﾘｽ	3	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果： ﾘｱｸｼｮﾝC値【7】								
超人的代謝	★							
効果： めっちゃ元気、めっちゃ燃料喰う								
声なき声	★							
効果： ｼｰﾝ内、念話可能								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

精神感応したヴィーグル《イブリース》（オルトロス相当品）に搭乗、一体化している。
《イブリース》の操縦のため、不要な要素を削ぎ落とす実験が行われ、五感がなく、手足もない状態で格納されている。
見た目はほぼタチコマ。自分の体が「これなもんで！」というブラックジョークで周囲を引かせる。

△▼△▼△▼△

プライムはジャハンナムの最高傑作である。
少なくとも、当人はそう標榜しているし、他のメンバーとの実力差（15点）もそれを裏付けている。
生来のオーヴァードでなかったプライムは、《イブリース》と呼ばれる兵器の生体部品としての扱いを受ける。そこで《イブリース》と接続するための精神強化手術を受けるが、負荷に耐え切れず脳死、一度は廃棄された。
しかし、廃棄され、避けられない死を迎えるはずだったプライムは臨死の瞬間にオーヴァードとしての力に覚醒し、《イブリース》と接続し、研究施設を破壊。
力の暴走により、実験体を含めて多数の被害をもたらした。
衝動の暴走により、多くを殺害したプライムを止めたのは、同じ施設の実験体だったメティスであった。《イブリース》と繋がるプライム本体を発見したメティスと対話し、正気に引き戻されたプライムはジャハンナムの実験成果の一つとなった。

その後、《イブリース》による破壊活動が原因で、同じ実験体からも、研究施設の職員からも危険視されていたプライムだったが、メティスは積極的に話しかけ、独りにしないでいてくれた。
そんなメティスに強い好意を抱き、大恩人である彼女だけがプライムの世界だったが、危険な実験などで矢面に立って自分を守ろうとするプライムに、メティスは「自分の生死じゃない。みんなでどう生きるかを考えよう」と言った。
その言葉を胸に、プライムは同じ施設の実験体たちの顔をようやく見た。

エース（15点）として、メティスやその他のモブのために何ができるのか。